

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第2区分  
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2002-363173(P2002-363173A)  
【公開日】平成14年12月18日(2002.12.18)  
【出願番号】特願2002-121258(P2002-121258)  
【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 291/06  
A 2 3 L 1/236  
// A 6 1 K 7/16

【F I】

C 0 7 D 291/06  
A 2 3 L 1/236 Z  
A 6 1 K 7/16

【手続補正書】  
【提出日】平成17年3月22日(2005.3.22)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 1  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【0 0 0 1】

【従来の技術】

公知の甘味料であるアセスルファム(6-メチル-3,4-ジヒドロ-1,2,3-オキサチアジン-4-オン2,2-ジオキシド)は、食品の甘味付けまたは歯用もしくは口腔用のケア製品に、主にカリウム塩(アセスルファム-K)としてこれまで商業的に使用されている。アセスルファムとアルカリ金属及びアルカリ土類金属との塩も公知であり、例えばナトリウム、マグネシウム及びカルシウムとの塩が知られている。これらのアセスルファム-金属錯体は、金属カチオンに依存する後味を伴う心地よい甘味を特徴とする。これらは、金属がカチオンとして存在しそしてアセスルファム分子がアニオンとして存在する化合物と定義される。